



# ★ インタビュー

この人に聞きたい!

## 第7回 県南支部 牛久市 行政書士石神敦子法務事務所 石神 敦子 会員

聞き手・文：澁谷 輝男 通信員



各種許認可申請業務から相続・遺言、経営支援まで幅広い業務を手掛ける傍ら本会の広報・監察部長と県南支部理事を務める石神敦子先生。いつも明るい笑顔と優しさで包み込むように接してくれますので、新人行政書士にとっては女神の存在になっていると聞きます。でも、仕事に対する姿勢は真摯で厳しく、曲がったことは大嫌いか。開業前の来し方も振り返りながら今後の行政書士業務への思いを語っていただきました。

**通信員** 開業の頃にご苦労されたことはありましたか？

**石神** 今年で9年目になりますが、行政書士としての経験も顧客もなく、全くゼロからのスタートでした。開業当初は「行政書士では食べていけないよ」とも言われ……。最初に受けた仕事は、実家近くの幼なじみからの軽自動車保管場所の届出。その後、相続手続きや、他土業の先生から経営事項審査などを紹介されました。分からないことは支部総会で名刺交換した先生に恐る恐る電話をかけたところ丁寧なご指導をいただきとても感謝したのを覚えています。

最初の3年間くらいは初めて携わる許認可ばかりでした。改良区除外申請手続、利用運送業許可申請、屋外広告物表示許可、設計事務所登録、建設業、古物、風営、飲食店等々。仕事の選り好みなど出来ない身分でしたからね。

開業当初は時間だけにはありましたので、茨城会はもちろん東京会の研修へも地道に足を運び、恥をかくのを恐れずに行政機関に問い合わせ、また経験豊富で懐深い先輩方に教を請うて、一つ一つの業務に向かいあって無我夢中で駆け抜けました。

**通信員** 前職の経験で役に立ったことは何ですか？

**石神** 受験勉強をしながら法律事務所、受験予備校や、出版会社の資格試験問題作成などのアルバイトをしたり、独立前に不動産会社に入社して、経理と営業を数年経験しました。これらの経験が今、生きていていると思います。

**通信員** 主にどのような業務に携わっていますか？

**石神** 仕事の7割は許認可業務で、3割が民事関係（相続・遺言・契約書作成等）です。司法試験合格を目指して勉強した民法知識もとても役立っています。お客様の要望に合わせて様々な契約書を作成する場合などひな型をそのまま使うことは出来ませんので、ヒアリングを丁寧にしっかりと作成できるよう心がけています。

**通信員** 本会の広報・監察部長と県南支部の理事を担われ大変ではないですか？

**石神** 本会の広報・監察部長と県南支部の理事を仰せつかっているのですが、いろいろな方と知り合えるのがとても有難いです。行政書士の先生方は、他土業と比較しても開業までの社会人経験が豊富な方が珍しくなく、前職や兼業も十人十色で人材の宝庫だと思います。広報部では年6回会報誌と年2回情報誌を発行していますので、週に1回は水戸に行っている感じです。忙しくなれば知恵が出てきますね。今はノートパソコンを持ち歩いて外出先でも仕事出来るように効率化を図っています。

**通信員** 開業間もない新人にアドバイスをお願いします。

**石神** 初めての仕事を恐れず汗をかきながらチャレンジしていただきたいですね。業務について私がお役に立てるのならお気兼ねなく相談してください。私が新人だった頃に受けたご恩を一人でも多くの方にお返し出来たらと思います。私もまだまだ勉強中の身ですが何かお手伝いできればと思います。

行政書士をはじめ他士業とのネットワークはとても大切です。業務をスムーズに遂行していくにはそれぞれの専門家と提携していくことが重要だと思います。

誠実に仕事に取り組んでいるとお客様からの紹介が自然に増えていくと思いますので、焦らず頑張ってくださいね。

**通信員** 余暇はどのように過ごされていますか？

**石神** 登山が好きで、槍ヶ岳や劔岳も登って、ここ数年は毎年家族で北アルプス登山に行っています。開業後、親戚に誘われて白馬へ出掛け、目前に広がる絶景に魅了されたのがきっかけです。今年は新型コロナウイルスの影響で山小屋が閉鎖されてしまったので、近くの筑波山や宝篋山に登っています。外出自粛要請のおかげで、週末ガーデニングを始めてしまって。ラベンダーやローズマリーなどのハーブやお花を事務所の庭に植え、仕事の合間にポーっと見ていると癒されますね。

**通信員** 行政書士の役割や目標などについて伺います。

**石神** お客様の成長・発展を支援しながら共に歩める行政書士でありたいと考えています。携わった会社の発展を願い、その時々で必要とされる手続きや計画を事前に提案していきたいです。今は高齢化社会を迎え、相続・遺言の相談が増えています。ご依頼者の状況によって、委任事務、任意後見、死後事務委任、遺言の4点セットを駆使してご希望に添った提案を行っていくことが必

要だと思います。ご依頼者の悩みを解決しホッとされると嬉しいです。

行政書士の認知度はここ10年位伸びているとは思いますがまだまだ低いと感じます。行政書士は小回りが利くと思いますので「身近な街の法律家」として認知度向上を図っていきたいです。

話をお伺いして感じたことは、「御恩」を大切にする方だということ。家族に対して、お客様に対して、同じ行政書士や他士業に対して、そして何よりも行政書士という仕事を愛していること。行政書士という仕事が好きだからもっと多くの人に知ってもらいたい、活用してもらいたい。その願いを叶えるためにお役（広報・監察部長）を引き受けたのだろう。そこには行政書士が活躍できる場、新人が育っていける環境を築きたいという願いが込められている。それが度々登場した「恩返し」という言葉なのだろう。

